

これからの「まち」を考えるトークシリーズ

「POTLUCK SCHOOL(ポットラック・スクール)」

第2期が始まります。



今回で第2期となる「POTLUCK SCHOOL(ポットラック・スクール)」は、今年6月よりスタートした、名古屋の港まちでこれからの「まち」についてみんなで考えるスクールです。

これからの社会を考えるヒントとして、アートやデザインなどクリエイティブな視点を持って「まち」や「コミュニティ」へ取り組む方をゲストに迎え、現場での実体験やプロジェクトに隠された秘話などを伺います。

ポットラック・スクールのみどころ

1、POTLUCK=持ち寄る をキーワードにした交流の場

「POTLUCK」とは、英語で「料理を持ち寄る」という意味がありますが、このスクールではアイデアや知恵、時にはそれぞれの地域の問題などを“持ち寄り”、共有し、楽しく学ぶことを目指しています。参加される方たちの学びがより促進される工夫として各回の終わりには交流会を設け、新たな学びの出会いの場となるように努めています。

2、第一線で活躍されているゲストスピーカーの方々

今回は、東京よりキュレーターの中野仁詞さん、浜松より建築×アートをベースに活動を展開する「大と小とレフ」のお二人、名古屋市内より人気エリアの仕掛人である建築家の市原正人さんをお招きします。各分野において最前線で活躍される3人の現場の声に迫ります。

▶第4回 ～ヴェネチア・ビエンナーレの舞台裏～

2015年9月18日(金) 19:00～20:30

ゲスト: 中野 仁詞 (第56回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館キュレーター)

イタリアで100年以上の歴史を刻み続けているヴェネチア・ビエンナーレ。第56回の日本館キュレーターを務めた中野仁詞さんに「塩田千春:《掌の鍵》-The Key in the Hand-」展の舞台裏や海外の地でアーティストとともに展覧会を作り上げるプロセスなどを伺います。



▶第5回 ～“街を読み解く”手法 建築×アート～

2015年10月16日(金) 19:00～20:30

ゲスト: 大東 翼・鈴木 一郎太(株式会社 大と小とレフ)

近年個性豊かな商店が増え、クリエイティブな活動地域としても注目を集める浜松市。「株式会社大と小とレフ」は建築とアートの異分野の2人が設立し、黒板とキッチンを備えたセミナールーム「黒板とキッチン」の企画運営や、演劇作品の発表など分野を越境した活動を行っています。彼らのプロジェクトを通じてまちを読み解く術を学びます。



▶第6回 ～空き家を再生し、まちを創る-円頓寺商店街のまちづくり-～

2015年10月30日(金) 19:00～20:30

ゲスト: 市原 正人(市原建築設計事務所/ナゴノダナバンク代表)

名古屋駅近くにありながらも古い町並みを残す円頓寺商店街は、「円頓寺パリ祭」の開催やゲストハウスの誕生など、近年大勢の人が集まる場所となっています。その背景には、店主や理事、建築家やデザイナーによって組織される「ナゴノダナバンク」の存在があります。その代表の市原正人さんにクリエイティブな実践事例からまちづくりを考えます。



会場: Minatomachi POTLUCK BUILDING

(名古屋市港区名港1-19-23)



名古屋市営地下鉄
名港線「築地口駅」2
番出口より徒歩1分

【お問い合わせ】

港まちづくり協議会事務局
広報: 岡西
〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23
Minatomachi POTLUCK BUILDING
(みなとまちポットラックビル)
TEL: 052-654-8911
Mail: okanishi@minnatomachi.jp
Web: minnatomachi.jp

ゲストプロフィール

▶中野 仁詞／NAKANO Hitoshi

1968年神奈川県生まれ。神奈川県立音楽堂を経て、神奈川県民ホール、KAAT神奈川芸術劇場で学芸員を務める。現代美術の展覧会をはじめ、現代音楽、能や声明などの日本の伝統表現、ダンスなど分野を横断した幅広い企画を行っている。主な企画展に、塩田千春展「沈黙から」(2007年)、泉太郎展「こねる」(2011年)、「日常/オフレコ」展(2014年)など。



photo by Sumi Morigi, Courtesy of Chiara Shida

塩田千春《掌の鍵》2015
第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館
写真提供: 国際交流基金

▶大東 翼／OHIGASHI Tasuku

鈴木 一郎太／SUZUKI Ichirota

株式会社大と小とレフ

関西を拠点に建築家として活動していた大東翼とロンドンでアーティストとして活動していた鈴木一郎太が、プロジェクトやイベントの企画・マネジメント、建築設計を行う会社として2013年に浜松に設立。一見関係無いようなことでも簡単に切り分けず地続きなものとなすという姿勢を元に、様々な案件に対して、クリエイティブな視点でディレクションやプロデュースを行っている。



セミナールーム黒板とキッチン(浜松)

▶市原 正人／ICHIHARA Masato

市原建築設計事務所主宰。有限会社デロ代表取締役。ナゴノダナバンク代表。建築家として、商業施設をはじめ、住宅などの設計を行う傍ら、円頓寺界隈への関わりは古く、まちづくりへの取り組みは20数年にも及ぶ。既存のコミュニティの結束が強い地域に新しい店舗を出店する際の仲立ちを重視し、円頓寺商店街に新たな風を呼び込んでいる。名古屋の港まちの新たな拠点「Minatomachi POTLUCK BUILDING」改修設計も手がけた。



江戸末期の蔵をコンバージョンしたレストラン(円頓寺)

港まちの人気喫茶店限定復活 アーティストによる「モーニング」イベント 「たとえば、いつもより早く起きて 港街でモーニングを食べてみるとする。」の第2弾！！

大好評を博した前回の「モーニング」から1ヶ月。第2弾がいよいよ始まります。

“コーヒーのある風景”を作り出すアーティストユニット・L PACK(エルパック)が全6日間限定でモーニングイベント。旧・喫茶店「キャビン」と港まちづくり協議会の新拠点でもある「Minatomachi POTLUCK BUILDING(みなとまちポットラックビル)」を会場に、展覧会『芸術植物園』(愛知県美術館)の出展作家3名とコラボレーションします。第2弾の出展作家は蜜蝋や樹脂などで描く絵画作品や、押し花のような水彩ドローイングの切り絵で注目される今村 文氏、L PACKによるオリジナルの新聞とともに、いつもと違う「モーニング」をお楽しみください。

-第2弾- 【 L PACK × 今村 文 】

◎2015年9月26日(土)7:00~10:00

会場 旧・喫茶店「キャビン」

◎2015年9月27日(日)7:00~10:00

会場 Minatomachi POTLUCK BUILDING 1F

参加費 500円
(モーニング・オリジナル新聞付き)

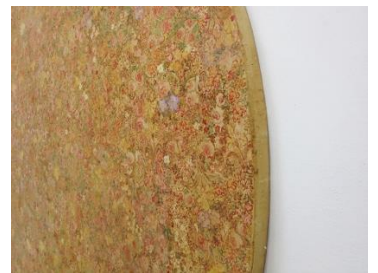


【早起き特典】

- ・モーニングに参加された方には『芸術植物園 Between Botany and Art』割引引換券(当日料金より200円引き)をプレゼント
- ・『芸術植物園 Between Botany and Art』観覧券を持ってモーニングに参加された方には、オリジナルコースターをプレゼント

▶今村 文 / IMAMURA Fumi

美術作家。1982年愛知県生まれ。2008年金沢美術工芸大学大学院修了。蜜蝋や樹脂などで描いた絵画作品や、押し花のような水彩ドローイングの切り絵などを発表。主な個展に、2014年「見えない庭 the Invisible Garden」山鬼文庫(金沢)、「絵という肉体を持った幻」エビスアートラボ(名古屋)。主なグループ展に、「モンブランヤングアーティストパトロナージュ 2012」モンブラン銀座本店(東京)、2015年「豊穡なるもの 現代美術 in 豊川」豊川市桜ヶ丘ミュージアム(愛知)



《金平糖》2013

会場アクセス

- ◎旧・喫茶店「キャビン」
(名古屋市港区入舟2-2-16)



名古屋市営地下鉄名港線「名古屋駅」3番出口より徒歩1分

- ◎Minatomachi POTLUCK BUILDING
(名古屋市港区名港1-19-23)



名古屋市営地下鉄名港線「築地口駅」2番出口より徒歩1分